

製造業に特化

統合人事パッケージ開発

ポーラ化粧品から初受注

ブレインワークス

ブレインワークス（東京都港区、竹内英昭社長、03・6713・9000）は製造業に特化した統合人事パッケージを開発した。初期設定に必要な期間やコストを削減でき、製造業特有のマトリクス構造に対応した原価計算が行える。第1弾として、ポーラ化粧品本舗（東京都品川区）から受注した。この実績を踏まえ、化学や機械など広範な業界に拡販する。今後3年間で40社への販売を見込む。

ブレインワークスが開発したのは「ポジティブ・マニファクチャリングエディション」。製品別や組織別といった製造業特有のマトリクス構造に対応した原価計算が行



える。人事データベースと運動して従業員のプロ設定から評価まで一元管理するため、人材育成や経営戦略などに反映することができ、ウェブに完全対応し、管理者や従業員がブラウザ（閲覧ソフト）上で情報を管理・閲覧できる。製造業で必要とされる機能を標準搭載しているため、

▲……………
 ポジティブではマトリクス構造に対応した原価計算が可能

初期設定に必要な期間やコストを削減できる。このほど導入が決まったポーラ化粧品はグルー

プ経営の基盤強化策の一環として、これまでメインフレーム（大型汎用機）で運用していた人事給与管理システムを刷新し、オープンシステムへの移行を決定。その人事・給与システムにこのパッケージを採用した。本社とグループ企業6社（計2500人）を管

理の対象とし、07年2月をめどにシステムを本稼働させる予定。今後はグループ全体への展開も視野に入れている。ブレインワークスは電通国際情報サービス（ISID）の子会社。自社開発ソフトを中心としたパッケージ事業を推進している。